

# 温室ガス削減へ 全参加国が目標

## パリ協定本格始動

深刻な地球温暖化に対処する国際枠組み「パリ協定」が1日、本格的に始動した。史上初めて、全ての参加国が目標を掲げて温室効果ガスの排出削減に取り組むのが特徴。当面は2030年の削減目標を改めて国連に提出することが各国の大きな作業となる。今の目標を大幅に強化しないと温暖化は抑えられないほか、米国は離脱方針を崩さず、懸念を抱えたスタートとなった。

パリ協定は温暖化の甚大な被害を避けるため、今世紀後半に世界の排出を実質ゼロにし、産業革命前からの気温上昇を2度未満、できれば1.5度に抑えることを目指す。先進国に削減目標を割り当てた前身の京都議定書と異なり、全ての国が自ら目標を定める。削減の状況を5年ごとに検証して目標の引き上げを促す仕組みがある。

各国が今年、再提出する30年の削減目標は、引き上げが期待されている。今の

水準では気温が約3度上がると予測されるためだ。しかし排出が多い中国やインドは引き上げ方針を示していない。日本も「13年度比26%減」との現行目標を維持する方向。米国は今年11月に協定を離脱する。

一方、協定の実施ルール作りは一部未決着だ。19年12月にスペインで開かれた国連気候変動枠組み条約第25回締約国会議(COP25)は、他国への技術支援などに伴う排出削減量の一部を自国の目標達成に充てる仕組みで対立し、合意を先送りした。

(2020年1月1日河北新報朝刊)

地球温暖化を防ぐため、「低炭素」社会から「脱炭素」社会への変化が待たなしの状況になっています。パリ協定からは米国が離脱を表明し、実施ルール作りも一部未定の部分があります。昨年はスウェーデンの17歳の少女、グレタ・トゥンベリさんのような若い環境活動家が地球の危機を訴えました。いま一度自分たちに何ができるか、考えていきたいものです。

(仙台市長町中教諭 進藤千枝)

出題者から

### 問題

- ①「パリ協定」とは何でしょう。
- ②パリ協定で目指していることは何でしょう。記事から探してみましょう。
- ③日本の目標は何でしょう。
- ④地球温暖化を防ぐために自分たちができることは何か、話し合ってみましょう。

(中学生以上／朝の会や総合学習の時間など)

かほく  
ワークシート

## 2月2日こども新聞かほくワークシート模範解答

① 「パリ協定」とは何でしょう。

深刻な地球温暖化に対処する国際的な枠組みのこと

② パリ協定で目指していることは何でしょう。記事から探してみましょう。

温暖化の甚大な被害を避けるために、今世紀後半に世界の温室効果ガス排出量を実質ゼロにし、産業革命前からの気温上昇を2度未満、できれば1.5度に押さえることを目指す

③ 日本の目標は何でしょう。

2030年、13年度比で26%の温室効果ガス削減

④ 地球温暖化を防ぐために自分たちができることは何か、話し合ってみましょう。

模範回答なし